

科目名	権利擁護と成年後見制度					開講 キャンパス	神 埼
担当者	岡 部 由紀夫・平 誠 一						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択・必修（介護）
授業の概要 及びねらい	社会福祉基礎構造改革以降、福祉サービスの利用に際し、契約制度が導入されるようになってきた。このような状況にあって、利用者が適切に福祉サービス等を選択し、よりより生活を過ごしていくための権利擁護システムの一つとして、成年後見制度が位置付けられている。今後、社会福祉実践において重要性の高まっていく成年後見制度及び関連する諸制度、組織・団体等について理解を深めさせる。						
授業の 到達目標	①権利擁護の視点から成年後見制度が理解する。 ②日本国憲法について理解する。 ③行政法・民法について理解する。 ④成年後見制度の概要について理解する。 ⑤保佐・補助の概要について理解する。 ⑥任意後見制度について理解する。 ⑦成年後見人等の義務と責任について理解する。 ⑧関連制度、組織・団体について理解する。						
学習方法	オムニバス形式、パワーポイント・視聴覚教材等を用いて講義						
テキスト及 び参考書等	新・社会福祉士養成講座19「権利擁護と成年後見制度」						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○	○			50	
小テスト等	◎	○	○			30	
宿題・授業外レポート							
授業態度	○	○	◎			10	
受講者の発表							
授業への参加度	○	○	◎			10	
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第1週	権利擁護と成年後見制度						
第2週	日本国憲法の理解						
第3週	行政法の理解						
第4週	民法・社会福祉関連法の理解						
第5週	成年後見制度・保佐・補助制度の概要について						
第6週	日常生活自立支援事業・成年後見制度利用支援事業について						
第7週	権利擁護にかかわる組織・団体						
第8週	権利擁護にかかわる専門職の役割						
第9週	権利擁護にかかわる社会福祉士の役割						
第10週	成年後見活動の実際						
第11週	成年後見活動の実際						
第12週	成年後見活動の実際						
第13週	権利擁護活動の実際						
第14週	権利擁護活動の実際						
第15週	まとめ						
第16週							
備考	【授業外の学習】 ・受講前にはシラバス等に沿った自己学習を行うこと						